

平成28年の交通事故統計分析結果を発表

～車籍別・事業用トラックが第1当事者となった死亡事故～

公益社団法人全日本トラック協会はこのほど、事業用トラックが第1当事者となった死亡事故件数を都道府県ナンバー別(車籍別)に1万台当たりの数値に換算し、平成26年～28年の3ヵ年の推移を示したデータを公表した。

それによると、全国平均では、26年が2.7件、27年が2.5件と年々減少傾向をみせており、28年は2.1となったが、全ト協は車両1万台当たりの死亡事故件数目標を「2.0件」に設定しており、今後、各都道府県トラック協会においては、「トラック事業における総合安全プラン2009」の数値目標2.0件を

達成できるよう、さらなる交通事故防止対策に取り組むことが求められる。

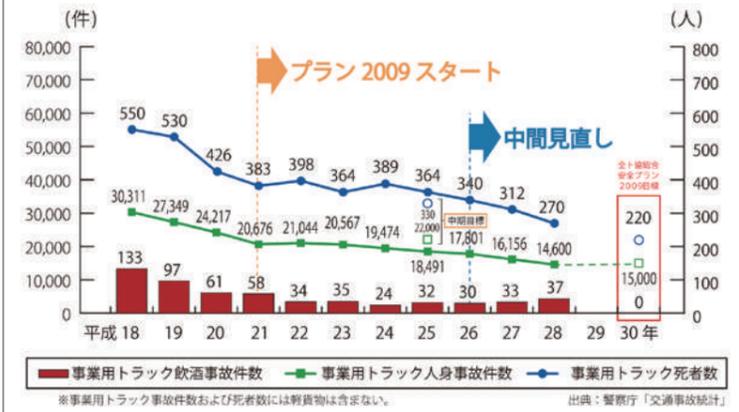
都道府県別にみると、2.0件の数値目標をクリアできたのは25都県で、特に岩手県、山梨県、鳥取県、島根県、沖縄県はゼロを達成した。

車籍別の発生状況では、車籍地(県内)での事故は144件、他県での事故は114件となっている。

なお、このデータは全ト協ホームページ内「平成28年の交通事故統計分析結果」に掲載されており、ダウンロードが可能となっている。

トラック事業における総合安全プラン2009と目標値達成状況

人身事故件数、死者数共に減少傾向にある中で、飲酒運転による交通事故件数及び死者数は最終目標未達成である。特に、飲酒事故件数は2年連続で増加しており、関係者一丸となって飲酒運転撲滅に取り組む必要がある。



死亡事故データ(車籍別発生状況)

順位	車籍地	件数	割合	内訳	発生率	
1	埼玉	22	8.5%	12	10	45.5%
2	千葉	21	8.1%	12	9	42.9%
3	大阪	19	7.4%	9	10	32.6%
4	北海道	18	7.0%	18	0	32.0%
5	福岡	17	6.6%	9	8	47.1%
6	愛知	12	4.7%	8	4	33.3%
7	東京	9	3.5%	6	3	33.3%
8	神奈川県	9	3.5%	7	2	22.2%
9	広島	9	3.5%	5	4	44.4%
10	兵庫	8	3.1%	5	3	37.5%
11	福岡	7	2.7%	3	4	57.1%
12	静岡	7	2.7%	5	2	28.6%
13	三重	7	2.7%	4	3	42.9%
14	群馬	6	2.3%	2	4	66.7%
15	新潟	6	2.3%	1	5	83.3%
16	愛媛	6	2.3%	4	2	33.3%
17	香川	6	2.3%	4	2	33.3%
18	徳島	6	2.3%	4	2	33.3%
19	宮崎	6	2.3%	4	2	33.3%
20	鹿児島	6	2.3%	4	2	33.3%
21	沖縄	0	0.0%	0	0	0.0%
合計	258	100.0%	144	114	44.2%	

